

17 肢体不自由の妹 (中学生作文)

5 (ナレーター) 皆さん、いかがお過ごしですか。福岡市がお送りする「こころのオルゴール」の時間です。

今日は中学生の作文を朗読します。

10 私には四つ下の妹がいます。めずらしい病気で身体(からだ)は成長しても、脳の発達は0才のままだそうです。寝返りしかできず、介助しないと生活できません。食事はミキサーで砕いたものをあげています。

15 私は食事のお手伝いをします。お母さんが作ってくれたミキサー食にお湯を足し、妹の食べやすい温度と濃度にします。それからスプーンで一口ずつ妹の口に運びます。妹はちよつと味見をして、自分の好きな味かどうかを確かめます。そして、少し考えてから、自分の好きな味だと大きな口を開けて次を要求します。けれど、好きな味じゃない場合うつむいて顔をあげようとしません。分かりやすい妹について笑ってしまいます。そんな時は妹の好きなヨーグルトをあげたり、お気に入りの音楽をかけたりにして、食事が進むようにします。

25 大変なこともあります。妹は気に入らないことがあると火が付いたように泣き出し、止まらなくなることがあります。そんな時は家族で協力して歌を歌ったり、だっこしたり好き

なおもちやを見せたりして、泣きやませるのに必死になります。

30 妹に障がいがあることを友達に話すと「大変だね。」とか、「かわいそうだね。」と言われることがあります。けれど、私はそうは思っていないません。なぜなら、妹はとてもかわいいし、家族中に愛されてとても幸せそうに見えるからです。

35 お父さんは仕事から帰ると、まず妹の顔を見に行きます。お兄ちゃんも部活から帰ると、そばでエネルギーチャージしています。お母さんも妹といえる時はいつも優しいです。私も妹と遊ぶのが大好きです。手あそびや歌あそびをしてあげると、妹は声をあげて笑います。その声がかわいいので、私まで笑顔になってしまいます。妹には人をホンワカさせる力があるような気がします。

40 そんなかわいい妹だけど、私の友だちは初めて妹に会うと、何も言えずに固まっていることがあります。ちよつとさみしい気持ちになるけれど、それは友だちが妹のことをよく知らないからで、何度か会っていれば、そのうち妹のよさがわかって、きっと好きになってくれると思います。私にとっても家族にとっても妹は大切な宝物です。